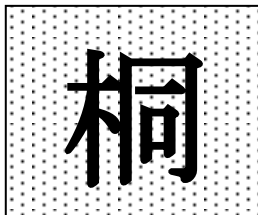


大東文化学園
教職員組合連合機関紙
第 1057 号
2012 年 11 月 19 日発行



E-MAIL: daito-un@boreas.dti.ne.jp
http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/
p/f (03) 3935-9505

本号の内容

◆2012 年総会 再招集のお知らせ◆

- ◆大東文化大学教職員組合定例総会成立せず（11 月 12 日「集会」報告）
 - ◆大東文化学園財政分析研究会報告（2 回目後編）
 - ◆私大教連より～小豆島のみかん＆うどんのご案内～

◆2012 年総会 再招集のお知らせ

■■■■大学組合員のみなさまへ■■■■

総会成功に向け、ご協力をお願いします！

11 月 12 日(月)に予定した定例総会は、残念ながら、成立要件をわずかに満たすことができず不成立となりました。そこで、改めて 2012 年総会を以下の要領で開催いたしますので、皆様のご協力を強くお願いいたします。

日時：12 月 10 日(月)午後 6：30 より

場所：板橋校舎 1 号館 208 会議室

（今年度より会場が変更になっています。）

総会が不成立となったため、出席者全員の賛同の下に総会を急遽、「組合員集会」とし、議案書の内容の確認を行いました（詳しくは下掲の「大東文化大学教職員組合定例総会成立せず 11 月 12 日『集会』報告」をご覧ください）。このたび改めて招集する総会では、この「集会」での審議結果を踏まえて（「集会」に参加された組合員にとって「繰り返し」にならないよう）スピーディーな議事運営を図りたいと考えます。そのため、第 1 号議案「活動報告」と第 3 号議案「活動方針」に関する執行委員会からの報告をできる限り簡略化しますので、ご出席の際は事前に議案書に目を通して下さるようお願いいたします。

また、ご欠席の方は必ず同封の委任状を早めにご返送くださるようお願いいたします。

◆大東文化大学教職員組合定例総会成立せず（11 月 12 日「集会」報告）

大東文化大学教職員組合 2012 年度定例「総会」が、11 月 12 日(月)午後 6 時 50 分から板橋校舎 1 号館 208 会議室において開催されました。以下、「総会」の議事について報告します。

6 時 50 分、定刻を過ぎたため山口書記長が総会の開会を宣言し、続いて沼口執行委員会委員長から挨拶がなされた。その後山口書記長の司会の下で議長の選出がおこなわれ、議長には山中氏（教育学科）、金氏（法律学科）が選出され、議長の指名により、沼口委員長が第一号議案「2011/2012 年度活動の報告」について報告を行った。

第一号議案では、①臨時嘱託職員の定年に関する協定の締結の時期、②学園の資産についての質問が出席者からなされた。沼口委員長より①については学園との合意は得られているので、次回団交でできるだけ早い時期に実施できるよう協定の締結を要求する、②については財政分析研究会での分析を基に、財政内容（特に積立されている資産）の不透明なところを明確にしていくとの表明がなされた。

また、沼口委員長から教員定年（65 歳）切り下げ撤回問題について出席者の意見を求める発言があり、出席者から意見のとりまとめがなされた。

続いて第二号議案「2011/2012 年度会計報告・会計監査報告」が兵頭執行委員・松尾会計監査よりなされた。

山中議長より、総会はこの時点で出席 33 名・委任状 82 通（有効数 66 通）、計 99 名となり、総会成立の要件である組合員総数 207 名の二分の一以上の出席を欠くことが報告され（規約第 15 条）、この会を「集会」とし、これをもって会を閉会する旨が報告された。

第三号議案「2012/2013 年度活動方針」、第 4 号議案の「2012/2013 年度予算案」については、次回「総会」にて報告することとなった。

また、当初予定されていた選挙管理委員選出、次期執行委員・監査委員選出についても総会不成立のため行われなかった。

次回総会の開催を近日中に行う旨を告げ、午後 8 時 50 分沼口委員長により閉会が宣言された。

以上のように残念ながら 11 月 12 日の会は総会の定足数を満たさず集会に切り替えられました。

総会日程を再度 **12 月 10 日（月）18：30～場所：板橋校舎 1 号館 208 会議室**に設定いたします。（前年度までの会場が使用できなくなったため、今年度より場所が変わっております。）万障お繰り合わせの上ご出席ください。やむをえず欠席なさる方は委任状をお忘れなくお届けください。

最後に議長を務めてくださった山中先生、金先生、集会に参加されたすべての皆さんに改めて感謝の意を表します。（書記局）

◆大東文化学園財政分析研究会報告◆

2 回目「消費収支計算書と貸借対照表を読む」後編

講師 山口不二夫（明治大学大学院教授）

前号でご案内しましたように、組合は、独自に財政分析ができるようにすることを目標に、9 月から 5 回の予定で大学財政分析の専門家をお招きして、毎月大東文化学園の財政分析の研究会を開催しています。2 回目（10 月 23 日）の講演内容の後半をまとめてお伝えします。

<消費収支計算書（帰属収支で判断する！）>

企業ではその会社が儲かっているかどうかは、損益計算書で判断します。それに対して大学では消費収支計算書で判断します。年間にどれだけの収入（帰属収入）があり、それに対して、どれだけの支出（消費支出）があるのかを示しているのが消費支出計算書です。ここで気を付けなければならないのは大学では実質的な収入を表すのが帰属収入で、消費収入でないことです。この帰属収入と消費支出の差額である**帰属収支で赤字か黒字かを判断しなければなりません**。帰属収入から基本金組入れ額を差し引き、これを消費収入としています。この基本金については次回にご説明します。

大東文化大学 まず、大東文化大学の消費収支計算書を見てみましょう。大東文化大学の帰属収入は 168 億円で、このうち 136 億円は学納金による収入です。続いて（受験料収入が主な）手数料収入が 4 億円、寄付金 9900 万円、補助金収入が 9 億円となっています。600 億円以上ある金融資産の運用収入（資産運用収入）が 8 億 8600 万円で、事業収入が 1 億 9800 万円、雑収入が 6 億 8900 万円となっています。168 億円の帰属収入に対して、支出は人件費が 100 億 7800 万円で帰属収入の 60%に当ります。続いて教育研究経費が 49 億円、管理経費が 9 億円余りとなっています。

明治大学 明治大学の帰属収入は大東文化の約3倍の522億円です。このうち学納金収入が382億円です。手数料収入は35億6300万円で大東文化の9倍、寄付金収入は9億1900万円でやはり大東文化の9倍ですが、資産運用収入は10億400万円で大東文化の1.1倍に当たります。このように、明治大学に比べて、大東文化は相対的に学納金以外の手数料収入や寄付金収入、補助金収入の割合が低いことがわかります。

慶応・早稲田 学納金収入でみると、早稲田が644億円であるのに対して、慶応は506億円で、早稲田は慶応の約1.2倍の規模ですが、帰属収入全体では早稲田が968億円であるのに対して、慶応は1,410億円で、逆に慶応は早稲田の1.5倍の規模であることがわかります。じつは、慶応は学納金を上回る事業収入(562億円)があるため、事業収入の大半は病院経営による、医療収入(483億円)なのです。それに対して、早稲田の事業収入は55億円位に過ぎません。

手数料収入は早稲田が43億円に対して、慶応は22億円で、早稲田が慶応の約2倍ですが、寄付金収入では早稲田は28億円に対して、慶応は59億円で慶応は早稲田の2倍以上で、早稲田は慶応に大きく水をあけられています。さらに補助金収入も早稲田が144億円に対して、慶応は190億円と上回っており、これは医療系学部に対する国からの補助金が多いためと考えられます。

消費収支計算書の比較(2010、2011年度決算、単位：百万円)

法人名	明治大学		早稲田大学		慶応大学		大東文化	
年度	2011	帰属収入比	2011	帰属収入比	2011	帰属収入比	2011	帰属収入比
(収入)								
学納金	38,155	73.1%	64,425	66.6%	50,612	35.9%	13,600	80.9%
手数料	3,563	6.8%	4,345	4.5%	2,165	1.5%	414	2.5%
寄付金	919	1.8%	2,751	2.8%	5,917	4.2%	99	0.6%
補助金	5,613	10.7%	14,415	14.9%	19,012	13.5%	917	5.5%
資産運用収入	1,004	1.9%	2,241	2.3%	2,783	2.0%	886	5.3%
資産売却差額	4	0.0%	48	0.0%	41	0.0%	1	0.0%
事業収入	992	1.9%	5,510	5.7%	56,206	39.9%	198	1.2%
うち医療収入		0.0%		0.0%	48,364	34.3%		0.0%
雑収入	1,980	3.8%	3,065	3.2%	4,245	3.0%	689	4.1%
帰属収入合計	52,230	100%	96,800	100%	140,980	100%	16,804	100.0%
基本金組入額合計	-9,378	-18.0%	-153	-0.2%	-5,439	-3.9%	-3,622	-21.6%
消費収入の部合計	42,852	82.0%	96,647	99.8%	135,541	96.1%	13,182	78.4%
(支出)								
人件費	39,331	75.3%	59,532	61.5%	67,049	47.6%	10,078	60.0%
修正人件費	29,067	55.7%						
教育研究経費	17,951	34.4%	41,799	43.2%	63,533	45.1%	4,913	29.2%
管理経費	3,055	5.8%	4,289	4.4%	3,755	2.7%	909	5.4%
借入金等利息	0	0.0%	134	0.1%	261	0.2%	18	0.1%
資産処分差額	411	0.8%	1,115	1.2%	3,613	2.6%	368	2.2%
徴収不能引当繰入金	26	0.0%	12	0.0%	73	0.1%	0	0.0%
徴収不能額	31	0.1%	16	0.0%	0	0.0%	3	0.0%
消費支出の部合計	60,805		106,896		138,284		16,289	
当年度消費支出超過額	17,953		10,250		2,743		3,107	
前年度繰越消費収入超過額	34,039		90,081		122,810		2,657	
基本金取崩額	-499		-		0		3	
翌年度繰越消費収入超過額	51,493		100,330		125,553		-447	

<まとめ>

貸借対照表を見ると、有形固定資産のうち土地の額は明治 600 億円、早稲田 1000 億円に対して、大東はわずか 220 億円に過ぎません。しかし金融資産は明治が 691 億円、早稲田 1216 億円に対して、大東文化は 643 億円で、相対的に、大東文化は金融資産の割合が高いことがわかります。金融資産だけで総資産の 6 割以上です。これだけ金融資産を持っていると、逆に金融資産の持ちすぎていることが、リスクとなります。つまり、資産運用には注意が必要です。

消費収支計算書を見ると大東文化は帰属収入に占める学納金の割合 (80.9%) が高く、これが弱点と言えます。慶応、早稲田、明治のいずれもが、手数料収入、寄付金収入、補助金収入、事業収入が多く、これが大東文化との違いです。とくに慶応と早稲田の補助金、寄付金の割合の大きさは抜群です。文系主体ということもありますが、大東文化は補助金収入の割合 (5.5%) が低くなっています。

また、帰属収入に対する人件費の割合ですが、明治は 75.3%、早稲田が 61.5%で、大東文化は 60.0%と比較的低いことがわかります。ただし今期の明治大学は文部科学省から退職給与引当金が即時退職必要額の 100%を積むように引当額を増額したため、その点を修正すると 55.7%となります。

<次回の内容> 今回は、貸借対照表と消費収支計算書についてご説明しました。次回は、大学会計特有でわかりにくい基本金のしくみについて詳しくご説明します。

講師の紹介：山口不二夫、明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授、高等教育研究所研究員(第四部会長)、担当科目：非営利組織の会計、主要著書：『企業分析』(共著)(白桃書房)、『私立大学の財政分析のできる本』(共著)(大月書店)、ほか多数。

◆私大教連より～小豆島のみかん&うどんのご案内～

■■■■大学組合員のみなさまへ■■■■

2012 冬 私大の権利闘争支援セール 小豆島のみかん&うどん 争議・権利闘争をたたかう組合をご支援ください

ご好評をいただいております小豆島のみかん&うどんのご案内です。このセールの環元金は、さまざまな権利闘争を闘っている組合への支援となります。

お歳暮に、ご贈答に、ぜひご利用ください。(詳しくは同封のチラシをごらんください。)

お願い

メール便は転送サービスがありません。

お引越しをされた場合は、恐れ入りますが、速やかに、新しいご住所を組合までお知らせください。

E-MAIL daito-un@boreas.dti.ne.jp

本紙は大学組合 web サイト <http://www.boreas.dti.ne.jp/daito-un/> にも掲載しています。

併せてご利用いただければ幸いです。

本紙へのご投稿、ご意見、ご質問は daito-un@boreas.dti.ne.jp にお寄せください。

